

同志社法学

自第六五号
至第七〇号

(第十三卷)

総目次

同志社法学 第十三卷 執筆者紹介 (ABC順)

井ヶ田 良治 同志社大学教授

今井 仙一 同志社大学教授

金山 正信 同志社大学教授

加藤 正男 同志社大学教授

岡本 善八 同志社大学教授

小野 哲 同志社大学教授

田畑 忍 同志社大学教授

高橋 貞三 同志社大学教授

内田 智雄 同志社大学教授

山本 浩三 同志社大学教授

谷田 貝三郎 同志社大学教授

大隅 逸郎 同志社大学助教授

嶋田 敬介 同志社大学専任講師

畑 肇 同志社大学助手

国府 剛 同志社大学法学修士

宮井 忠夫 同志社大学法学修士

大谷 実 同志社大学法学修士

竹ノ内 治美 樟蔭女子大学講師

芳野 勝 高知短期大学助教授

論 說

法の解釈における主観主義と客観主義	田 畑	忍	六五	一
——憲法主義に於ける法解釈の一つの問題点に於て——				
封建的村落共同体と村掟 (四)	井ヶ田 良	治	六五	二三
——丹波国保津村五苗集団の村落支配——				
日本の永世中立について	田 畑	忍	六六	一
——日本国憲法第九条と永世中立主義——				
「図式政治学」への試み (白)	小 野	哲	六六	一
——政治学における図式——				
登記請求権の観念	金 山	正 信	六七	一
最近の中国における土台・上部構造論争 (白)	大 隅	逸 郎	六七	二二
——スターリン「公式」の批判をめぐって——				
スピノザの政治哲学 (上)	今 井	仙 一	六八	一
登記請求権の発生と行使	金 山	正 信	六八	三〇
最近の中国における土台・上部構造論争 (白)・完	大 隅	逸 郎	六八	四五
——スターリン「公式」の批判をめぐって——				
物権的請求権 (上)	金 山	正 信	六九	一
スピノザの政治哲学 (中)	今 井	仙 一	六九	二〇

フルスウエイ教授の「訳注 漢書刑法志」の書評に答えて……………内田 智雄……………七〇……………一

スピノザの政治哲学(下)……………今井 仙一……………七〇……………一四

物権的請求権(下)……………金山 正信……………七〇……………四八

封建的村落共同体と村掟(註)……………井ヶ田 良治……………七〇……………六六

——丹波国保津村五苗集団の村落支配——

判例研究

慰藉料請求権の相続性……………谷田 貞三……………六五……………四六

離婚を余儀なくされた妻から夫および夫の両親に対する慰藉料請求……………谷田 貞三……………六六……………三五

推定相続人の全員の死亡と代襲相続……………谷田 貞三……………六七……………四七

不公正な競争方法の判決……………高橋 貞三……………六八……………七四

争のある共同相続人とその遺産分割の申立……………谷田 貞三……………六八……………八八

人事委員会の判定と行政処分……………高橋 貞三……………六九……………五〇

遺産の範囲に争いある場合と家庭裁判所の審判権……………谷田 貞三……………六九……………六二

双方本人尋問と後に尋問すべき本人を退廷させることの適否……………嶋田 敬介……………七〇……………九九

共同相続財産に関する紛争と訴の性質等……………谷田 貞三……………七〇……………一〇五

行政処分の不存在と認められない事例と……………宮井 忠三……………七〇……………一〇五

行政処分の瑕疵の治癒された事例……………高橋 貞三……………七〇……………一一八

資料

訳注 晉書刑法志(甲)	内田智雄	六五	六二
『憲法変遷』にかんする清宮教授の見解について	田畑	忍	六五
拙著・「契約総論」について	加藤	正男	六五
——本城武雄氏に答える——			八九
「科学的論断と予見」(訳)	大隅	逸郎	六五
訳注 晉書刑法志(乙)	内田	智雄	六六
中国における史的唯物論上の諸問題に関する論争(訳)	大隅	逸郎	六六
ドイツ法における離婚後の扶養と財産の清算	宮井	忠夫	六六
「親族法の改正と婚姻の方式」	竹ノ内	治美	六六
——内縁関係を中心として——			一一〇
訳注 魏書刑罰志(甲)(未定稿)	内田	智雄	六七
施向東、「中国革命の二つの段階の区別と連繫」(訳)	大隅	逸郎	六七
首相国民投票制について	田畑	忍	六七
予備と未遂の限界	大谷	実	六七
——特に実行の著手の意義について——			九六
訳注 魏書刑罰志(乙)(未定稿)	内田	智雄	六九
一七九五年の憲法(訳)二	山本	浩三	六九

訳注 魏書刑罰志(自)(未定稿).....内田 智 雄.....七〇・一二六

カール・レンナー著

私法の諸制度とその社会的機能(自) 共訳.....加藤 正 男.....七〇・一四〇

一七九五年の憲法(訳)三・完.....山本 浩 三.....七〇・一五五

書 評

田畑 忍博士著「日本國憲法條義」.....芳 野 勝.....六五・一一一

「政暴法」について.....田 畑 忍.....六六・一二八

「中立は実現できるか」前芝・山手編.....田 畑 忍.....六七・一〇八

川上太郎教授「國際私法の法典化に関する史的研究」.....岡 本 善 八.....六八・九七

——神戸大学経済経営研究所昭和三十六年九月十日発行——

山本浩三教授訳の「憲法の系譜」を読む.....高 橋 貞 三.....六九・九六

逐条資料「日本國憲法」.....山 本 浩 三.....六九・一〇〇

酒井吉栄著

「近代憲法思想史研究」.....山 本 浩 三.....七〇・一六三